

体験談 6

『自分の反省から子育てに悩む親御さんへ』

障がい、遅れがあるというものを受容する、しないに関わらず、子をもつ親であれば、子育ての悩みは必ずあるものだという考えを前提に、子育てをしている自分をまずは好きになってほしいと思います。特に母親は自分のせいで子どもの発達に影響がでてきたと考えることが多いです。私の場合は、子どもの発達遅滞が先天性の障害であったことがわかった時、安堵しました。それ以後、子どもの発達、親の思い、子どもの思い…それぞれ別々に考えるようにし、主観的、客観的な立場で見られるようになり、だいぶ楽になりました。親だけでは育てられないので、いかに依存していくことが重要だともわかりました。相談相手も一人だけではなく、多方面の方がいると安心です。医師や専門家の相談も有効ですが、様々な考えに振り回されてしまうことも多々あります。お子さんにとってどのやり方が良いのかは、親が決めることになりますが、失敗も親子の成長の糧として受け入れていくことを楽しんでほしいと思います。世知辛い世の中ですが、サポートをしてくれる方は沢山います。

